

名城大学Day 2009.9.19

## 子どもとのかかわり方のヒント

～時々出す「オニの心」を鎮める・鎮め方を教える～

名城大学 曾山和彦

## 大人の役目

- 子どもは時々、「オニの心」(わがまま、勝手な振る舞い等)を出す

「オニの心」を鎮める・鎮め方を教えるのが  
大人(親、教師等)の役目である  
～ある住職の言葉～

2

## 何故、「オニの心」が顔を出すのか

- 環境の変化
- 情報化、スピード化
  - 三間(時間、空間、仲間)の消失
  - 核家族化 等

昔に比べ、人とのかかわり不足の子どもたち

ソーシャルスキルと自尊心の低下

3

## 現代の子どもの育て方

～「オニの心」を鎮める・鎮め方を教える～

1. ソーシャルスキル(対人関係のコツ)を教える
2. 自分に「OK!」と言えるようにする  
(自尊心を高める)

伝わるように言葉をかけていく

4

## ソーシャルスキル(対人関係のコツ)を教える3つの言葉かけ

例;「ありがとう」を教えたい

1. 対決の「アイメッセージ」  
\*「ありがとう」が言えないときに
2. 「あれ？」  
\*「ありがとう」が言えないときに
3. 「褒める、勇気づける、認める」  
\*「ありがとう」が言えたときに

5

## 自分に「OK!」と言えるようにする3つの言葉かけ

1. いいところ探し;「A君のいいところは だね」
2. リフレーミング;「短所は飽きっぽいところ」  
「それは いう長所でもあるよ」
3. 勇気づけ;「ありがとう」、「うれしい」、「助かった」

失敗しても自尊心、所属感を失わない態度

6

褒め過ぎに  
注意!

## 「褒める」と「勇気づけ」

**褒める**; 「は偉い、上手、すごい」など。全てプラスのユーメッセージ。役割上、上から下の者にかえられる言葉

**勇気づけ**; 「ありがとう、うれしい、助かった」など。全てプラスの**アイメッセージ**。役割に関係なく並行にかけられる言葉

失敗しても自尊心、所属感を失わない態度(byアドラー)

家を「ありがとう」でいっぱいにする

## 自分にOKと言う(自尊感情)に関する言葉

大人は子どもに1日、10回は言葉をかけてほしい  
言葉がかかるということは「愛されている」ということ  
子どもは大人から愛されれば愛されるほど非行から遠ざかる  
(夜回り先生の言葉)

## 大人の姿勢として

**「親」という字**  
「木の上に立って、見る」

**アメリカインディアンの教え**  
「はげましを受けて育った子は自信をもつ」

**ギブランの詩**  
「愛情を与えても、考えを与えてはならない」

## 参考文献

- 親業、トマス・ゴードン、サイマル出版
- 気になる子の対応術、会沢信彦・曾山和彦、教育開発研究所

10